

和歌山県教育委員会

記 者 発 表

令和8年6月30日

文部科学省の「N-E. X. T.（ネクスト）ハイスクール構想」 における改革先導拠点に本県の3校が採択されました！

本年2月、文部科学省は、未来の労働市場や地方経済において、高等学校が社会の「イノベーションを興す力を底上げする起点」としての役割を果たすことを目指し、「高校教育改革に関する基本方針（グランドデザイン）～2040年に向けた「N-E. X. T.（ネクスト）ハイスクール構想」～」を公表しました。

また同省は、この構想の確実な実現に向け、各都道府県に対し、「産業イノベーション人材育成等に資する高等学校等教育改革促進事業」として、類型1「アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援」、類型2「理数系人材育成支援」、類型3「多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保」の3つの枠組みにおいて、改革先導拠点の公募を行いました。

これを受けて、本県では、下記の3校をそれぞれ改革先導拠点として申請し、今般、3校全てが採択されましたのでお知らせします。

なお、採択校とその事業計画の主な内容は、別紙のとおりです。

記

類型1 和歌山県立和歌山工業高等学校

類型2 和歌山県立新宮高等学校

類型3 和歌山県立貴志川高等学校

(連絡先)

○基金事業に関すること

教育総務局 総務課

総務企画班

担当：宮脇、武内

電話：073-441-3640

内線：3647

○N-E. X. T. ハイスクール構想に関すること

教育総務局 教育政策課

政策管理班

担当：島田、六十谷

電話：073-441-3641

内線：3746

○改革先導拠点に関すること

学校教育局 県立学校教育課

教育改革推進班

担当：中谷、江川

電話：073-441-3681

内線：3775

(別紙)

〈採択校と事業計画の主な内容〉

類型	学校名	事業計画の主な内容	採択額
類型 1	和歌山工業 高等学校	高度なデジタル技術や専門性を駆使しながら、地域産業や生産現場の課題解決と価値創造を担う高度技能者の育成と、次代の開発技術者を育成する高等教育への接続モデルの構築 ➤専攻科「デジタル生産システム専攻（仮称）」の新設 ➤県内企業等の技術者からの直接指導による実習の高度化や実践・探究的プロジェクトの実施 ➤データサイエンスを取り入れた科目の充実等、高度技能者と次代の開発技術者を育成する教育課程の編成 ➤企業や小中学生、他校の高校生と協働できる学びの場「共創・ものづくりセンター（仮称）」の整備	約 39 億円
類型 2	新 宮 高等学校	地理的に制約のある地域においても高度理数教育を成立させ、地域課題の解決と地域産業を支える理数系人材の育成を一体的に実現する教育モデルの構築 ➤データサイエンスの視点を取り入れた探究活動やフィールドワークの高度化 ➤双方向オンライン技術による大学教員や研究機関職員、理系大学生等の多様な理数系人材との交流促進 ➤高度理科実験設備の整備とシェアリングによる学習ネットワークの構築	約 16 億円
類型 3	貴 志 川 高等学校	地域をフィールドにした探究学習と ICT 活用による小規模校間ネットワークを通して、生徒の多様な学びの機会を保障する教育モデルの先駆的事例の構築 ➤学校間「遠隔授業ネットワーク」の構築等、ICT を活用した多様な学びの実現 ➤高校を拠点として地域の産学官が連携し、地域をフィールドにした探究学習の充実 ➤バーチャル空間を活用した不登校支援等、個々の生徒の状況に応じた教育環境の整備	約 7 億円
計	3 校		約 62 億円

※ 類型 1：アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援

類型 2：理数系人材育成支援

類型 3：多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

※ 採択額は、今後の交付手続きにおいて、技術的観点からの確認と精査の後、減額になることがある。
また、単位未満を四捨五入している。

「N-E.X.Tハイスクール構想」における和歌山県の3つの改革先導拠点

類型1：県立 和歌山工業 高校

アドバンスト・エッセンシャルワーカー等育成支援

生産現場の課題解決と価値創造を担う高度技能者の育成と、次代の開発技術者を育成する高等教育への接続モデルの構築

主な取組

- 専攻科「デジタル生産システム専攻（仮称）」の新設
（工業科での新設は県内初）
- 県内企業等の技術者からの直接指導による実習の高度化や実践・探究的プロジェクトの実施
- データサイエンスを取り入れた科目の充実等、高度技能者と次代の開発技術者を育成する教育課程の編成
- 企業や小中学生、他校の高校生と協働する学びの場「共創・ものづくりセンター（仮称）」の整備
- 企業のリアルな生産現場に対応した実習環境の整備

類型3：県立 貴志川 高校

多様な学習ニーズに対応した教育機会の確保

生徒の多様な学びの機会を保障する教育モデルの先駆的事例の構築

主な取組

- 学校間「遠隔授業ネットワーク」の構築等、ICTを活用した多様な学びの実現
- 高校を拠点として地域の産学官が連携し、地域をフィールドにした探究学習の充実
- バーチャル空間を活用した不登校支援等、個々の生徒の状況に応じた教育環境の整備
- 遠隔授業機材の導入等、双方向オンライン環境の整備

類型2：県立 新宮 高校

理数系人材育成支援

地域課題の解決と地域産業を支える理数系人材の育成を一体的に実現する教育モデルの構築

主な取組

- データサイエンスの視点を取り入れた探究活動やフィールドワークの高度化
- 双方向オンライン技術による大学教員や研究機関職員、理系大学生など、多様な理数系人材との交流促進
- 高度理科実験設備の整備とシェアリングによる学習ネットワークの構築
- 遠隔授業機材の導入等、双方向オンライン環境の整備